

常任委員会・特別委員会の動き

村岡地区のまちづくり

村岡新駅概略設計

令和元年度中の着手を目指す

建設経済

建設経済常任委員会は、6月11日に開催され、議案1件、陳情1件を審査した。岡新駅設置等については、その結果、議案は可決すべきもの、陳情は趣旨了承と決定した。

村岡地区のまちづくりの取組について

村岡地区のまちづくりは、神奈川県、鎌倉市及び本市(以下「3県市」という)で湘南地区整備連絡協議会を設置し、さまざまな取組を続けてきた。



内部統制制度のさらなる充実のために設置された内部統制推進室

要望書の内容としては、①村岡地区に、東海道本線の新駅を設置すること②戦略的新駅として、新駅整備費用の一部を負担すること③新駅の概略設計について2019年度に着手すること――以上3点である。

この合意のもとに、村岡新駅設置の推進を図るため、3県市で「村岡新駅(仮称)設置協議会」(以下「協議会」という)を設立し、協議会からJR東日本に対し、「東海道本線の駅設置に関する要望書」を31年1月18日に提出した。

鶴南小学校等改築基本設計

各施設の動線や津波避難に配慮

子ども文教

子ども文教常任委員会は、6月13日に開催され、陳情2件を審査した。その結果、陳情は1件が趣旨了承、1件が趣旨不了承と決定した。

鶴南小学校については、老朽化が進んでいる施設の改築に合わせ、近隣施設である浜見保育園及びよつば児童クラブと一体的に、複合施設として再整備する事業を進めている。

基本設計の概要として、配置計画については、校舎棟を北側に配置し、児童の通学動線を引地川の遊歩道からのアクセスに限定する。

とし、津波発生時には、この屋上園庭、校舎棟などの屋上部分及び4階の普通教室を避難場所として含めると、最大避難想定人数の見込みが1570人であるのに対し、約3倍の人数を収容できる規模となる。



鶴南小学校等改築後のイメージ図

内部統制推進のための運用ガイドライン策定

総務

総務常任委員会は、6月14日に開催され、陳情1件を審査した。その結果、陳情は趣旨不了承と決定した。

また、藤沢市内部統制推進のための運用ガイドライン及び令和元年度内部統制の取組について報告を受けた。

本市では、業務に潜むリスク想定とその対処方針をあらかじめ定めておくことの必要性等に重点を置いた内部統制の取組を推進してきた。

藤沢おれんじプラン

地域における一体的な取組を推進する

厚生環境

見反映③リスクの再点検と帳票の改訂④内部統制に関する報告書の作成⑤不祥事等の再発防止のための取組⑥研修の実施⑦内部統制制

地方公共団体における組織目的は、住民の福祉の増進を図ることであることか

地域における一体的な取組を推進するために、「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を目指す地域社会像とする。

さまざまな取組の充実等を図りながら推進していく。本プランの推進においては、引き続き、庁内外に対する啓発や認知症施策に取り組み

心部再生及び公共施設再整備について審査した。この日の委員会では、藤沢駅前周辺地区再整備事業の設再整備特別委員会は、6月28日に開催され、藤沢都

補正予算常任委員会

補正予算

補正予算常任委員会は、6月17日に開催され、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

災害対策特別委員会は、5月31日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された令和元年度藤沢市水防訓練を視察し

災害対策特別委員会は、5月31日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された令和元年度藤沢市水防訓練を視察し

災害対策特別委員会は、5月31日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された令和元年度藤沢市水防訓練を視察し

災害対策特別委員会は、5月31日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された令和元年度藤沢市水防訓練を視察し